

安全データシート

2012年4月18日 作成

2026年1月19日 改訂

1. 化学物質等及び会社情報

【化学物質情報】

製品名 : ステップガイド 点字シートHG TJ
製品の種類 : ABS樹脂製突起成形物および繊維不織布
推奨用途及び使用上の制限 : 視覚障がい者誘導用標示

【会社情報】

会社名 : 大崎工業株式会社
住所 : 〒593-8311 大阪府堺市西区上8-9番地
担当部門 : 技術課
担当者 : 技術課長
電話番号 : 072-272-1453
FAX番号 : 072-274-1810

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

・物理化学的危険性

爆発物 : 分類対象外
可燃性ガス : 分類対象外
エアゾール : 分類対象外
酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 分類対象外
可燃性固体 : 分類対象外
自己反応性化学品 : 分類対象外
自然発火性液体 : 分類対象外
自然発火性固体 : 分類対象外
自己発熱性化学品 : 分類対象外
水反応可燃性化学品 : 分類対象外
酸化性液体 : 分類対象外
酸化性固体 : 分類対象外
有機過酸化物 : 分類対象外
金属腐食性物質 : 分類対象外
鈍性化爆発物 : 分類対象外

・健康に対する有害性

急性毒性	経口	: 分類対象外
	経皮	: 分類対象外
	吸入 (気体)	: 分類対象外
	吸入 (蒸気)	: 分類対象外
	吸入 (粉じん及びミスト)	: 分類対象外
皮膚腐食性/刺激性		: 分類対象外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 分類対象外
呼吸器感作性		: 分類対象外
皮膚感作性		: 分類対象外
生殖細胞変異原性		: 分類対象外
発がん性		: 分類対象外
生殖毒性		: 分類対象外
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響		: 分類対象外
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		: 分類対象外
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		: 分類対象外
誤えん有害性		: 分類対象外

・環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性)		: 分類対象外
水生環境有害性 長期 (慢性)		: 分類対象外
オゾン層への有害性		: 分類対象外

【GHS ラベル要素】

[絵表示]

無し

[注意喚起語]

無し

[危険有害性情報]

無し

[注意書き]

《安全対策》

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201)
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)

《応急措置》

- ・ 無し

《保管》

- ・ 子供の手の届かないところに置くこと。 (P102)

《廃棄》

- ・ 内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村に従って、許可を受けた産業廃棄物処理業者と契約して破棄すること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

【単一化合物・混合物の区分】

単一化合物 アクリル樹脂系（固形）

【製品組成中の危険有害成分】

成形固形物の為、危険有害成分は無い。

4. 応急措置

【吸入した場合】

- ・ 無し

【皮膚に付着した場合】

- ・ 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

【眼に入った場合】

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗うこと。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・ 直ちに医師の診断を受けること。

【飲み込んだ場合】

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
-

5. 火災時の措置

【使用可能消火剤】

水〔○〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕

【特有の危険有害性】

- ・ 火災時に有害性のガスが発生する恐れがある。

【特有の消火方法及び消火を行う者の保護】

- ・ 指定の消火剤を使用すること。
 - ・ 適切な保護具（耐熱着衣等）を使用すること。
 - ・ 可燃物を周囲から、速やかに取り除くこと。
-

6. 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置】

- ・ 作業際には適切な保護具（手袋、防塵マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにし、二次災害を防止すること。

【環境に対する注意事項】

- ・ 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないようにすること。
- ・ 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除くこと。

【回収及び中和】

- ・ 埃を立てないように、帚、スコップなどで掃き集めること。

【封じ込め及び浄化方法及び機材】

- ・ 漏洩物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
 - ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

《技術的対策》

- ・ 保護具を着用すること。

《局所排気・全体換気》

- ・ 知見なし。

《安全取扱注意事項》

- ・ この製品を取り扱う際には、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 皮膚、粘膜、又は目に入らぬよう適切な保護具を着用すること。
- ・ 屋外又は換気の良い場所で使用すること。
- ・ 取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

【保管】

《安全な保管条件》

- ・ 日光の直射を避けること。
- ・ 水濡れしない風通しの良い場所に保管すること。
- ・ 火気及び熱源から遠ざけて保管すること。
- ・ 子供の手の届かない場所に保管すること。

《安全な容器包装材料》

- ・ 知見なし。

8. 暴露防止及び保護措置

成形固形物の為、情報なし。

9. 物理及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: (突起部) 黄色 (担持部) 白色
臭い	: 無し
融点/凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし。
可燃性	: 長時間の裸火による加熱により可燃する。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし。
引火点	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
pH	: データなし。
動粘性率	: データなし。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール/水分係数 (log 値)	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度及び/相対密度	: データなし。
相対ガス密度	: データなし。

粒子特性 : データなし。

10. 安定性及び反応性

【安定性】

- ・ 通常の条件では安定である。

【避けるべき条件】

- ・ 高温、日光、雨、水濡れ。

【混触危険物質】

- ・ 情報なし。

【危険有害な分解生成成分】

- ・ CO、低分子モノマーなどが発生する。
-

11. 有害性情報

【有害性情報】

急性毒性	経口	データなし。
	経皮	データなし。
	吸入（気体）	データなし。
	吸入（蒸気）	データなし。
	吸入（粉じん及びミスト）	データなし。
皮膚腐食性／刺激性		データなし。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		データなし。
呼吸器感作性		データなし。
皮膚感作性		データなし。
生殖細胞変異原性		データなし。
発がん性		データなし。
生殖毒性		データなし。
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響		データなし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		データなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		データなし。
誤えん有害性		データなし。

12. 環境影響情報

【環境有害性】

水生環境有害性 短期（急性）	データなし。
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

【残留性・分解性】

- ・ データなし。

【生物蓄積性】

- ・ データなし。

【土壌中の移動性】

- ・ データなし。

1 3. 廃棄上の注意**【残余廃棄物】**

- ・ 廃塗料等の廃棄物は、国際、国、都道府県、又は市町村に従って、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託すること。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

【汚染容器及び包装】

- ・ 容器等の廃棄物は、国際、国、都道府県、又は市町村に従って、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託すること。

1 4. 輸送上の注意**【国際規制】**

- ・ 国連番号 : 該当せず。
- ・ 品名 : 該当せず。
- ・ 国連分類 : 該当せず。
- ・ 容器等級 : 該当せず。
- ・ 海洋汚染物質 : 該当せず。

【国内規制】

- ・ 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定める規制に従うこと。
- ・ 海上輸送 : 船舶安全法に定める規制に従うこと。
- ・ 航空輸送 : 航空法に定める規制に従うこと。

1 5. 適用法令

無し

1 6. その他の情報**【参考文献】**

- ・ 日本塗料工業会編集 「MSDS用物質データベース」
- ・ 日本塗料工業会編集 「製品安全データシート・ガイドブック」
- ・ 化学工業日報社編集 「改訂第2版 労働安全衛生法 対象物質全データ GHS対応」
- ・ 化学工業日報社編集 「改訂第2版 化学物質管理促進法 対象物質全データ GHS対応」
- ・ 化学工業日報社編集 「改訂新版 化審法 化学物質」
- ・ 化学工業日報社編集 「危険物輸送に関する勧告 モデル規則第15改訂版」
- ・ 経済産業省 「GHS混合物分類判定システム Version:6.0」
- ・ 厚生労働省 「職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>」
- ・ 日本規格協会 発行 「GHSに基づく化学品の分類方法 JIS Z 7252:2019」
- ・ 日本規格協会 発行 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示」

及び安全データシート (SDS) JIS Z 7253 : 2019」

- ・ 原材料メーカー発行 SDS

【注意】

- ・ 危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。
-